

ともに歩む能登

能登復興の旅 プログラム集

令和6年1月1日16時10分、M7.6、最大震度7の大地震が能登半島を襲いました。さらに、9月21日には、地震の被災地で豪雨災害が発生しました。

この2つの災害により、世界農業遺産に認定されている能登の里山里海は大きな被害を受けました。能登半島を襲った災害の記憶を風化させないため、また、災害大国ニッポンにおいて、今後起り得る災害に備えるため、「いしかわの震災学習プログラム」を通じて、能登を訪れる皆さんに私たちが2つの災害で経験したこと、学んだことを伝え、「生きる力」を育むきっかけとしていただきたいと思います。



いしかわ震災学習プログラム

能登半島MAP



	自然の驚異	防災・減災	復興への取り組み
珠洲市	① ② ⑥ ⑧	③ ④	② ③ ⑤ ⑥ ⑦
輪島市	⑨ ⑩ ⑪ ⑫	⑬	⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬
能登町	⑭	⑭ ⑮	
穴水町	⑯	⑰ ⑱	⑯
志賀町	㉑	㉐	㉙
七尾市	㉓ ㉕	㉒ ㉓ ㉕ ㉖	㉒ ㉔ ㉖

自然の驚異

能登半島地震では、地盤の隆起や沈降、津波、土砂崩れ、火災、液状化など、地震で起こりうる現象が数千年に一度の規模でまとまって発生しました。これら自然の驚異を、能登の各地で直にふれ、災害への備えについて考えます。

防災・減災

元日の家族団らんを襲った大地震。未曾有の災害の中、人々がどのように行動し、いかに命を守ったか、自助・共助・公助がどのように機能したのか、実体験を学ぶことで災害発生時に取るべき行動について考えます。

復興への取り組み

能登半島地震は、能登の里山里海に育まれた豊かな恵みや、人々の営みに大きな被害をもたらしました。震災からの復興に向け、歩みを進める能登の人々の取り組みを知ることで、自分自身の生きる力について考えます。

ろうこうさき

1 外浦海岸の隆起と禄剛埼灯台



隆起した外浦地区の海岸

ろうこうさき
禄剛埼灯台～外浦海岸

珠洲市外浦地域は、地震で最大2m隆起し、海岸線が50m遠くなるなど景色が一変しました。数千年に一度の地殻変動メカニズムについて学ぶほか、最北端の禄剛埼灯台では、約130年使用され地震でも被災したフレネル式レンズを見学し、北前船が行き交った海上交通の歴史を学びます。

所在地 珠洲市狼煙町～大谷町

連絡先 (一社)サポートスズ事務局 TEL:080-9992-9620

アクセス 金沢駅から車で3時間30分 のと里山空港から車で1時間30分

2 日本唯一・揚げ浜式の塩づくりの再興

自然 復興



隆起で遠くなった海岸

道の駅すず塩田村

国重要文化財「揚げ浜式製塩法」という伝統的な製塩法が受け継がれている珠洲市外浦地区。地震で海岸が最大2m隆起し、塩づくりに必要な海水の汲み上げができなくなるなど、大きな被害を受けました。伝統ある製塩法を災害から守り、再建に取り組む苦労を学びます。

所在地 珠洲市清水町1-58-1

連絡先 道の駅すず塩田村 TEL:0768-87-2040

アクセス 金沢駅から車で3時間30分 のと里山空港から車で1時間30分

3 能登半島地震から考える～人と馬の共生

防災 復興



珠洲ホースパーク

珠洲ホースパークでは、引退した競走馬が活躍する場をつくり、地域社会と共に存する馬のセカンドキャリアづくりに取り組んでいます。震災でライフルラインが断絶する厳しい環境での水汲みや飼料の確保、馬房の清掃など、馬の命を守り、復興に向けた取組や馬のセカンドキャリアについて学びます。

所在地 珠洲市峭島町鉢ヶ崎36-3

連絡先 珠洲ホースパーク TEL:0120-40-1638

アクセス 金沢駅から車で3時間 のと里山空港から車で1時間

4 能登半島地震における観光施設の活用と防災

防災



設置された段ボールベッド

鉢ヶ崎オートキャンプ場・珠洲ビーチホテル

珠洲市峭島町のキャンプ場やホテルは、ボランティアや復旧事業者の受け入れ拠点となりました。レクリエーション施設が災害時に有効活用された事例として、震災当時の状況や応援職員受入の対応の話を聞くほか、災害時に利用した段ボールベッド等の防災体験により、防災意識を高めます。

所在地 珠洲市峭島町

連絡先 珠洲市観光交流課 TEL:0768-82-7776

アクセス 金沢駅から車で3時間 のと里山空港から車で1時間

5 幻の古陶・珠洲焼の震災からの復興

復興



地震で壊れた窯

珠洲焼資料館・珠洲焼館・窯元

珠洲焼は平安から室町時代にかけ珠洲市を中心に生産された中世を代表するやきもの一つ。15世紀に生産が途絶え、戦後復活を遂げ「幻の古陶」と呼ばれています。市内全ての窯元が被害を受けましたが、2度目の復活に向けた取組や珠洲焼について学びます。

所在地 珠洲市峭島町

連絡先 珠洲市観光交流課 TEL:0768-82-7776

アクセス 金沢駅から車で3時間 のと里山空港から車で1時間

6 瓦藻土産業の震災からの復興

自然 復興



かぎぬし 鍵主工業

珠洲市の瓦藻土は埋蔵量が全国一であり、重要な地場産業の一つ。市内に3つある瓦藻土事業者も大きな被害を受けました。江戸時代から受け継がれる瓦藻土産業の再建に向けた取組と、能登で繰り返されてきた地震や隆起と深く関わりがある瓦藻土について学びます。

所在地 珠洲市峭島町鉢ヶ崎1-2-146-1

連絡先 株式会社鍵主工業 TEL:0768-82-0780

アクセス 金沢駅から車で3時間 のと里山空港から車で1時間

7 県内唯一の焼酎会社の震災からの再建

復興



地震で傾いた貯蔵タンク

日本醸酵化成

県内唯一の麦焼酎の蔵元。能登半島地震では、建屋も甚大な被害を受け、ほとんどの機械が使用できなくなり、100本以上あるタンクのほとんどが傾くなど、大きな被害を受けました。営業再開に至るまでの苦労や、会社存続をかけた思い、復興への取組み等について学びます。

所在地 珠洲市野々江町

連絡先 日本醸酵化成株式会社 TEL:0768-82-1231

アクセス 金沢駅から車で3時間 のと里山空港から車で1時間

8 能登のシンボル・見附島で知る自然の驚異

自然



被災後の見附島

見附島

能登のシンボル見附島は、地震によりその姿が大きく変わり果て、周辺地域も津波で大きな被害を受けました。見附島の歴史を学ぶとともに、地震や津波の被害状況や復旧の現状から、地震の前後の変化を知り、自然の驚異を体感します。

所在地 珠洲市宝立町鵜飼

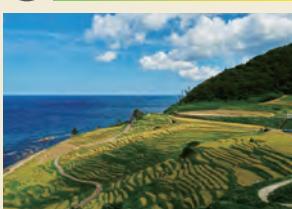
連絡先 (一社)サポートスズ事務局 TEL:080-9992-9620

アクセス 金沢駅から車で3時間 のと里山空港から車で50分

9 里山里海のシンボル・白米千枚田を未来に繋ぐ ～復興と挑戦～

自然

復興



白米千枚田

白米千枚田・国道249号仮設道路

機械が入らない小さな田んぼが連なる白米千枚田。担い手が減少する中、千枚田を如何に復旧し、受け継いでいくのか、千枚田での耕作の意味を見つめ直し、新たな取り組みにチャレンジする意味を、資料を交えながら説明します。また、隆起した海岸に設置した仮設道路を見学し、自然の脅威を体感します。

所在地 輪島市白米町

連絡先 輪島市産業部観光課 TEL:0768-23-1146

アクセス 金沢駅から車で2時間30分 のと里山空港から車で50分

10 平安時代から続く輪島朝市の復興まちづくり

自然

復興



震災前の様子

本町通り・朝市通り

日本三大朝市の一つ「輪島朝市」は、能登半島地震で発生した大規模火災により焼失しました。朝市エリアの住民が、朝市の震災後の取り組みや、これからの中長期計画について学びます。

所在地 輪島市河井町

連絡先 輪島市産業部観光課 TEL:0768-23-1146

アクセス 金沢駅から車で2時間10分 のと里山空港から車で30分

11 能登半島地震と輪島塗の秘密

自然

復興



輪島塗の製作風景

輪島漆器商工業協同組合 地の粉工場

輪島塗の下地塗工程で用いる地の粉（じのこ）と呼ばれる珪藻土は、地震などで隆起を繰り返してきた能登半島の成り立ちと大きな関係があります。地の粉が持つ原材料としての特徴や歴史など、地の粉と輪島塗の関係について学びます。

所在地 輪島市河井町小峰山

連絡先 輪島漆器商工業協同組合 TEL:0768-22-2155

アクセス 金沢駅から車で2時間 のと里山空港から車で30分

12 重伝建・天領黒島で考える震災と復興

～「数千年に一度」の自然の驚異～

自然

復興



黒島地区の街並み

黒島の街並み・黒島漁港

かつて北前船で栄え、重伝建にも選定されている黒島町は地震で大きな被害を受け、漁港も隆起し干上がってしまいました。語り部とともに黒島の街並みや、北前船の繁栄を象徴する金沢金箔使用で総輪島塗の曳山が展示されている北前船資料館、更には隆起した漁港をめぐり、復興への思いを聞きます。

所在地 輪島市門前町黒島町

連絡先 輪島市産業部観光課 TEL:0768-23-1146

アクセス 金沢駅から車で2時間 のと里山空港から車で40分

13 寺と地域が一緒に再生する町

防災

復興



總持寺祖院・總持寺通り商店街

1321年曹洞宗の大本山として創建された總持寺祖院。地震発生時の總持寺祖院や總持寺通り商店街の状況を紹介するほか、僧侶と地域住民、門前高校の生徒による、なりわい再建や街の再生に向けた取り組みを紹介します。

所在地 輪島市門前町

連絡先 櫛比の庄 禅の里交流館 TEL:0768-42-3550

アクセス 金沢駅から車で2時間 のと里山空港から車で35分

14 震災遺構・白丸郵便局で学ぶ 津波の脅威と災害への備え

自然

防災



白丸郵便局

能登町白丸地区は、津波で大きな被害を受けましたが、住民同士の声かけなどにより奇跡的に避難が成功しました。被災した白丸郵便局を見学しつつ、当時の状況や避難所開設、仮設住宅完成までなど、震災から復旧までの道のりを紹介し、防災について考えます。

所在地 函館郡能登町字白丸3の18番地5

連絡先 能登町ふるさと振興課 TEL:0768-62-8526

アクセス 金沢駅から車で2時間30分 のと里山空港から車で45分

15 「春蘭の里」で学ぶ持続可能な防災地域づくり

防災



春蘭の里

里山体験で人気の「春蘭の里」。地方創生モデルとして取り組んできた小水力発電や水素発電、自己水源の確保、下水道対策が能登半島地震で役立ちました。震災時の話を聞きながら、災害に強い地域づくりについて学びます。

所在地 函館郡能登町宮地

連絡先 春蘭の里事務局 TEL:0768-76-0021

アクセス 金沢駅から車で2時間 のと里山空港から車で15分

16 大地震による地殻変動を活かした能登のワインづくり

自然

復興



能登ワイン

能登半島では、長い歳月を経て度重なる地震・隆起により形成された地形を活かし、ブドウを栽培しワイン作りを行っています。能登半島ならではの自然のサイクルを学びつつ、ワイナリーにおける震災からの復興の歩みも学びます。

所在地 函館郡穴水町字旭ヶ丘5-1

連絡先 能登ワイン株式会社 TEL:0768-58-1577

アクセス 金沢駅から車で1時間50分 のと里山空港から車で30分

17 乗って聞いて知る能登半島地震～語り部列車

防災



語り部列車での案内

のと鉄道

震災後いち早く運行を再開し、能登復興のシンボルとなった「のと鉄道」。車内では、震災を経験した「語り部」が、能登に何が起き、人々が何を思い、考え、生きているのか、穏やかな車窓の風景とともに“能登の今”を伝えます。

所在地 函館市穴水町大町

連絡先 のと鉄道旅行センター TEL:0768-52-0900

アクセス 金沢駅から車で1時間30分 のと里山空港から車で15分

18 地元寺院で考える、これからの防災

防災



来迎寺

震災直後の緊急避難時の状況や、避難場所として住民を受け入れた際の苦労について、住職が穴水町の歴史を交えながら説明し、高齢化が進む地域での防災のあり方について考えます。

被災時の状況を語る住職

所在地 函館市穴水町大町

連絡先 来迎寺 TEL:0768-52-0709

アクセス 金沢駅から車で1時間30分 のと里山空港から車で20分

19 老舗醤油蔵で考える、能登の未来となりわいの復興

復興



カネヨ醤油

大正15年創業のカネヨ醤油は、震災で設備が破損するなどの被害を受けましたが、水が十分に確保できない中でも少しづつ生産を再開するなど復興に向け取り組んでいます。歴史ある醤油蔵を見学しながら、震災時の状況や復興の取り組みについて紹介します。

所在地 羽咋郡志賀町鹿頭ムの2

連絡先 カネヨ醤油株式会社 TEL:0767-46-1001

アクセス 金沢駅から車で1時間30分 のと里山空港から車で1時間

20 最大震度7の志賀町で防災キャンプ

防災



インスタントハウス

能登リゾートエリア増穂浦

最大震度7を経験した志賀町で、発災後の避難行動や苦労、工夫等、実際の被災体験を聞くとともに、火おこしや非常食など、キャンプを通じて災害時の行動を実際に体験することで、今後の災害に備えた防災の意識を高めます。

所在地 羽咋郡志賀町相神イの3番地1

連絡先 (一社)志賀町観光協会 TEL:0767-42-2125

アクセス 金沢駅から車で1時間25分 のと里山空港から車で1時間

21 北前船寄港地・福浦港で知る能登半島地震の記憶

自然



ガイドによる福浦港の案内

北前船寄港地 福浦港

最大震度7を記録した志賀町で、「いしかわ文化観光スペシャルガイド」として活動する語り部が、北前船の寄港地・福浦港の歴史や文化とともに、能登半島地震の記憶を語ります。

所在地 羽咋郡志賀町福浦港区

連絡先 道の駅とぎ海街道 TEL:0767-42-0975

アクセス 金沢駅から車で1時間15分 のと里山空港から車で1時間

22 能登半島地震における「のとじま水族館」の奮闘と再建

防災 復興



のとじま水族館

地震により様々な設備が損傷し、多くの生きものが死んでしまったほか、残された生きものも生命の危機に直面しました。生きものを救うため奮闘した飼育員から、当時の状況を聞きながら館内を巡り、発災から約半年で一部営業再開にこぎつけた水族館の取り組みを学びます。

所在地 七尾市能登島曲町15部40

連絡先 のとじま水族館 TEL:0767-84-1271

アクセス 金沢駅から車で1時間40分 のと里山空港から車で1時間10分

23 能登島の被害と地域の結びつき・防災について学ぶ

自然 防災



えのね 能登島荘・鰯目漁港

マリンアクティビティが人気の能登島では、地震や津波の被害を受けましたが、住民が力を合わせて復旧に取り組んでいます。被害を受けた民宿や、被災後10日前後で早期に定置網漁を再開した漁港の震災跡を見学しながら、防災・減災への備えについて考えます。

所在地 七尾市能登島鰯目町周辺

連絡先 能登島観光協会 TEL:0767-84-1113

アクセス 金沢駅から車で1時間40分 のと里山空港から車で1時間30分

24 “祭り”の再建から考える、震災後の地域コミュニティの維持

復興



和倉温泉お祭り会館

能登の人々にとって欠かせない“祭り”。地震により多くの祭りが中止に追い込まれる中、祭りを開催した地域もありました。祭りの再建へのジレンマやそれにまつわるエピソードを紹介しながら、震災後のコミュニティの維持について考えます。

所在地 七尾市和倉町2部13番地1

連絡先 和倉温泉お祭り会館 TEL:0767-62-4332

アクセス 金沢駅から車で1時間20分 のと里山空港から車で1時間

25 ~2000人の避難者ケガゼロ～ 和倉温泉の奇跡から学ぶ防災

自然 防災



和倉温泉街

元日の和倉温泉を襲った震度6強の大地震。多くの宿泊者で混乱する中、各旅館が冷静に対応し、奇跡的に全ての避難者を怪我無く避難できました。当時どのように対応したのか、今後どんな備えが必要なのか、ガイドが温泉街を案内し震災の記憶を伝えます。

所在地 七尾市和倉町2-13-1

連絡先 和倉温泉観光協会 TEL:0767-62-1555

アクセス 金沢駅から車で1時間20分 のと里山空港から車で1時間

26 被災商店街で語り継ぐ能登半島地震の記憶

防災 復興



一本杉通り

歴史ある街並みが特徴の「一本杉通り商店街」で、実際に被災した事業者から、発災時の行動、ライフライン復旧までの苦労や生活の工夫、コミュニティの維持などを紹介とともに、実際に商店街を廻り復興がどのように進められているかを学びます。

所在地 七尾市馬出町ツ49

連絡先 (一社)ななお・なかのとDMO TEL:0767-62-0900

アクセス 金沢駅から車で1時間30分 のと里山空港から車で1時間

自然の驚異 を学ぶ



津波で被災した白丸郵便局

輪島市～志賀町 コース (約5時間)

- 1 ⑨里山里海のシンボル・白米千枚田を未来に繋ぐ～復興と挑戦～ (60分)
バス (60分)
- 2 ⑫重伝建・天領黒島で考える震災と復興～「数千年に一度」の自然の驚異～ (60分)
バス (40分)
- 3 ㉑北前船寄港地・福浦港で知る能登半島地震の記憶 (70分)

珠洲市～能登町 コース (約5時間)

- 1 ①外浦海岸の隆起と禄剛埼灯台 (120分)
バス (40分)
- 2 ⑧能登のシンボル・見附島で知る自然の驚異 (40分)
バス (20分)
- 3 ⑭震災遺構・白丸郵便局で学ぶ津波の脅威と災害への備え (60分)

防災・減災について学ぶ



復旧拠点で活用された段ボールベッド

七尾市～志賀町 コース (約7時間)

- 1 ㉓能登島の被害と地域の結びつき・防災について学ぶ (40分)
バス (20分)
- 2 ㉙～2000人の避難者ゼロ～ 和倉温泉の奇跡から学ぶ防災 (45分)
バス (10分)
- 3 ①乗って聞いて知る能登半島地震～語り部列車 (和倉温泉～穴水駅)
和倉温泉駅発 (45分)
穴水駅着 (50分)
- 4 ㉐最大震度7の志賀町で防災キャンプ (180分)

能登町～珠洲市 コース (約4時間)

- 1 ⑯「春蘭の里」で学ぶ持続可能な防災地域づくり (60分)
バス (45分)
- 2 ⑭震災遺構・白丸郵便局で学ぶ津波の脅威と災害への備え (60分)
バス (35分)
- 3 ④能登半島地震における観光施設の活用と防災 (45分)

復興への取り組みについて学ぶ



總持寺祖院と地域の皆さん

輪島市～志賀町 コース（約5時間）

- 1 ⑩ 平安時代から続く輪島朝市の復興まちづくり (60分)
バス(10分)
- 2 ⑪ 能登半島地震と輪島塗の秘密 (60分)
バス(50分)
- 3 ⑬ 寺と地域が一緒に再生する町 (60分)
バス(30分)
- 4 ⑯ 老舗醤油蔵で考える、能登の未来となりわいの復興 (40分)

珠洲市～七尾市 コース（約5時間）

- 1 ③ 能登半島地震から考える～人と馬の共生 (40分)
バス(10分)
- 2 ⑤ 幻の古陶・珠洲焼の震災からの復興 (40分)
バス(120分)
- 3 ㉔ “祭り”の再建から考える、震災後の地域コミュニティの維持 (40分)
バス(10分)
- 4 ㉖ 被災商店街で語り継ぐ能登半島地震の記憶 (40分)



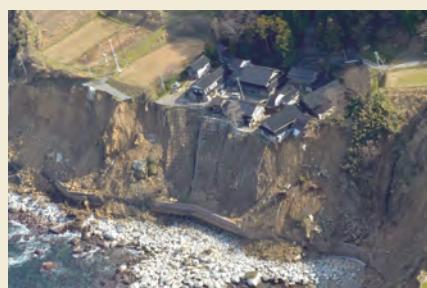
寸断された道路網



隆起で使用不能となった港



家屋等の倒壊



崖崩れが発生した海岸

※各モデルコースに記載の時間は令和7年3月時点のものであり、復旧・復興の状況により、プログラムの所要時間や移動時間が変わることがあります。